

肌寒さの中にも、着実に春の気配を感じる頃となりました。
緊急事態宣言が解除され、来月からはワクチン接種も予定されています。少しずつではありますが、新しい生活様式の定着へ向けて前進している気がしますね。

昨年は三岳地区福祉推進協議会の活動もなかなか思うようにできませんでしたが、2021年はコロナが終息し、みんなで顔を合わせて楽しく交流ができることを心より願っております。



不審な訪問者には、ご用心!

昨年、民児協北部ブロック管内で、訪問販売を装ったトラブルが発生しました。

独り暮らしのお年寄りの家に上がり込み、『お宅の不用品を買い取りますよ』と室内を物色。スマホで家の中を勝手に撮影したりして、家主は大変怖い思いをされたそうです。

三岳地区の皆さんも、訪問販売に遭遇した経験があるのではないのでしょうか？

まずは、ドアを開けない、無視することが予防策ですが、うっかり対応してしまった場合は注意しましょう。

～訪問販売を撃退するポイント～

【最初の要求をきっぱりと断る】

いきなり、「これ買いませんか?」とは言ってきません。

「アンケートに答えてもらうと景品を差し上げますよ」「玄関先で話すだけですのぞ」など、こちらが「まあ、それくらいならいいかな」と感じるようなハードルの低い要求をします。

上手な販売員は、その後自分のペースに乗せるトークを繰り広げ、最終的に契約をさせます。相手のペースに乗せられないためにも、まず最初の要求を断ることを覚えておいてください。

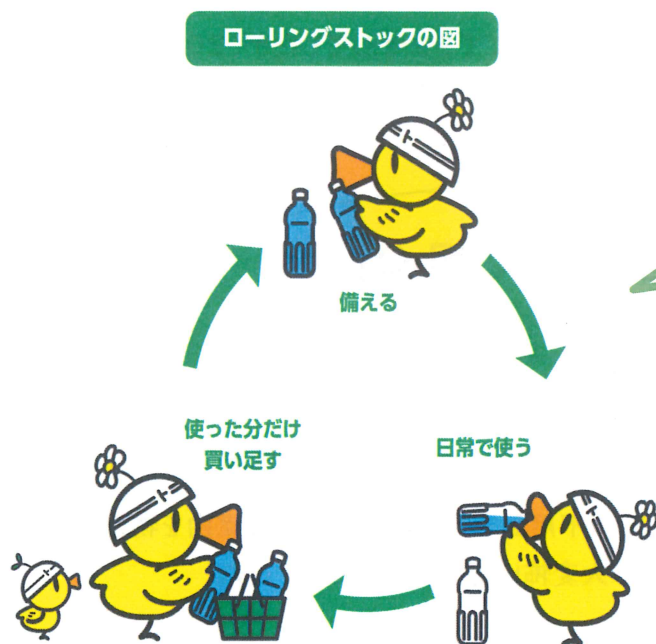
地域の方よりお寄せいただいた川柳をご紹介します。

- ・三密を まもれコロナの 撲滅に
- ・気ままな子 離れて気づく 親の愛
- ・調べもの スマホが頼り 一の友 上佐々木 百合田 さま

2021年3月で、東日本大震災から10年を迎えます。
この機会に今一度、家の中の防災対策を見直しましょう。

家族で取り組む 家の中の防災準備

普段からの備蓄や、住まいの防災対策をチェックしましょう。
食料備蓄は多目に！ ローリングストックがおすすめです。



消費しながら備蓄する方法。
普段から多めに買い置きし、
賞味期限の早い順に消費し、
買い足します。備蓄の賞味期
限切れを防ぐことができます。

- ◎家族の人数×2食×1週間分
- ◎1人1日 3Lの水
- ◎種類を豊富に(缶詰、レトルト食品、お菓子など)
- ◎節水できる食料(無洗米、シリアルバーなど)

収納場所にもひと工夫を！ 食料は分散して収納すれば、より安心です。

災害の影響で、備蓄品を置いている部屋に入れなくなることがあります。

キッチンの収納だけでなく、家庭内のスペースを利用して分散収納を心がけてみるといいでしょう。

防災アイテム

◎乾電池などの電源を複数用意

複数の大きさの乾電池、充電式の乾電池、携帯用モバイルバッテリーなど、複数の電源を準備。

古くなっていないか、定期的に確認しましょう。

◎カセットコンロ、ボンベは必需品

あたたかい食事作りや暖房がわりに欠かせないカセットコンロ、カセットボンベ。

古くならないよう普段から使って、常に新しいものに入れ替えましょう。

(1日1本が目安。7本以上備蓄)

◎簡易トイレの準備&確認

市販の簡易トイレには、さまざまなタイプがあります。

購入したら、使用方法を確認しておきましょう。

【編集後記】

久々の発行となりました。コロナ禍での1年を過ごしてみ、意識や生活スタイルもずいぶん変化したように思います。今年はやりたい事ができるといいですね。私は旅行がしたいです。皆さんは何をしたいと思いますか？ 山岡